

VERTIV™ POWER ASSIST

クイック・インストレーション・ガイド



重要: Liebert® UPS を設置し、電源に接続、または操作する前に、安全性と規制に関する記述書を確認してください。インストール、操作、メンテナンス、およびトラブルシューティングの詳細情報については、「UPS ユーザー・ガイド」(www.Vertiv.com の製品ページより入手可) を参照してください。

Vertiv™ Power Assist は、コンピューターに接続された 2 台までの UPS を監視して重要な UPS ステータスの詳細を表示、記録し、いずれかの UPS がバッテリー・バックアップで稼働している場合には画面上および電子メールで通知し、決められたバッテリー条件に基づいてコンピューターを自動的にシャットダウンします。2 台の UPS が接続されている場合は、どちらか一方または両方の UPS を選択してシャットダウンをトリガーすることができます。デフォルトでは、2 台の UPS が並列に定義されています。

アプリをダウンロードする

アプリケーションのインストール先のコンピューターから www.Vertiv.com のアプリケーション・リンクにアクセスして選択し、インストールを実行します。

Vertiv Power Assist は自動的にバックグラウンドで実行されます。タスクバーのアイコンからユーザー・インターフェイスにアクセスできます。

コマンド・プロンプト

Vertiv Power Assist は、プリセットされたパラメータでコマンド・プロンプトからインストールすることができます。使用可能なコマンドと例の一覧を表示するには、コマンド・プロンプトで、Power Assist インストーラー・アプリケーションのフルネームと /? を入力します。

例: powerassistinstaller-202007021.exe /?

UPS を接続する

設定画面から、UPS へ接続する方法を選択します。

- USB の場合は、標準の USB-USB ケーブルを使用して、Vertiv Power Assist を実行しているコンピューターに UPS を接続します。
- SNMP の場合は、UPS の IP アドレスを入力するか、または Discover UPS を選択し、IP アドレスの範囲、コミュニティ文字列を入力し、「スタート」をタップします。最大 2 台の UPS を選択し、「追加」をタップします。

注: デフォルトのコミュニティ文字列は public です。

Vertiv Power Assist はすぐに UPS データのロギングを開始します。「ホーム」画面にデータが表示されていることを確認します。

SNMP のタイムアウトを調整する

SNMP 経由で接続された UPS のタイムアウトを調整するには、「設定」を選択し、SNMP タイムアウトをミリ秒単位で希望の時間に増加または減少させます。

2 台以上のコンピューターを構成する

- シャットダウンが適切に行われるようにするため、UPS に USB ケーブル経由で接続されていないコンピューターは「マスターの Power Assist からデータを取得する」に設定する必要があります。クライアントモードで Power Assist を選択し、マスターの IP アドレスまたはホスト名を入力します。
- USB ケーブルで接続されているコンピューターがマスターとして機能します。このマスター・コンピューターが最後にシャットダウンされるように設定しなければなりません。

注: 「マスター Power Assist がオフラインの場合にはシャットダウンする」を選択した場合には特に、マスターの Power Assist コンピューターが正しく接続されていることを確認してください。マスター・コンピューターが接続されておらず作動していない状況では、リモート・コンピューターは既定の時間枠 (300 秒) 後にシャットダウンします。

シャットダウンの条件を設定する

「設定」画面を選択し、シャットダウンのオプション (バッテリー・ステータスに基づいて、あるいは直ちに) のいずれかを選択します。

バッテリー・ステータスのオプションを選択した場合は、シャットダウンの条件となる時間または容量を設定します。

UPS がバッテリー・バックアップで稼働している場合にはシャットダウンまでの時間をカウントダウンするポップアップ通知が表示されるため、これを目安に作業を保存することができます。設定されている場合は、バッテリー・ステータスと、シャットダウンが近い将来起きることを知らせる電子メールが送信されます。

シャットダウン前にスクリプトを実行するには (Windows Os のみ)、「スクリプトによるシャットダウンを有効にする」を選択し、ローカル・

ハードドライブ上の PowerShell または他のスクリプト・ファイルを指す bat、cmd、または exe ファイルを参照します。スクリプトで -force パラメータを使用して、他のログインしているユーザーやプロセスがシャットダウン・アクションをブロックしないようにします。スクリプト・エラーを確認するには、C:\ProgramData\Vertiv\PowerAssist\logs にある PowerDiagnostics.txt を確認します。

注: スクリプトを期待どおりに実行するには、ユーザーは、スクリプトで参照されているコマンドとファイルにアクセスできる必要があります。選択したスクリプト・ファイルは、コンピューターをシャットダウンする役割を果たします。事前にスクリプトをテストしてください

保留中のシャットダウンについての通知を設定する

電子メールを送信するには、適切な接続とポート設定でサーバーと送信者を構成します。送信する通知の種類を選択します。

- 「UPS はバッテリーで稼働中」—UPS がバッテリーを使ってコンピューターに給電している場合。
- 「バッテリー残量低下」—バッテリーの残量が極度に少なくなった場合。
- 「シャットダウン処理の開始」—設定に基づいてシャットダウンが開始されたとき、または、即時シャットダウンの場合には電子メール通知が送信された後。

データとイベントログを表示する

ホーム画面で、ログを確認したい UPS の「ログ」をタップします。

注: すべてのデータとイベントログは、コンピューターの次の場所に保存されます:
C:\ProgramData\Vertiv\PowerAssist.

メンテナンス モード

メンテナンス・モードがオンの場合、システムはシャットダウンしません。マスター Power Assist がメンテナンス・モードにある場合、すべてのクライアント Power Assist はシャットダウンしません。UPS のファームウェアをアップグレードしたり、バッテリー・テストを実施したりする場合は、UPS をメンテナンス・モードにすることを勧めます。



Vertiv™ テクニカル・サポートへのお問い合わせについては、www.Vertiv.comを参照してください

© 2020 Vertiv Group Corp. 全著作権所有。Vertiv™ および Vertiv ロゴは、Vertiv Group Corp. の商標または登録商標です。言及されている他のすべての名称およびロゴは、それぞれの所有者の商号、商標、または登録商標です。本文書の正確性および完全性については万全を期しておりますが、Vertiv Group Corp. は、記載情報の使用に起因する損害または誤記や脱落に対しては一切の責任を負わず、かつそのすべての賠償責任を拒否します。仕様は予告なく変更される可能性があります。

